

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

国県道対策運営事務

【 国県道対策担当 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【事業の内容】

(1) 国県道対策運営事務

- ・小袋谷跨線橋の架け替えを含む腰越大船線事業に関する協議・調整を行った。
- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,440	2,440	1,043		1,397

主な支出内訳

・国県道対策運営事務

事務補助嘱託員報酬 1人	840
事務補助嘱託員費用弁償	76
首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会負担金	80
関東国道協会負担金	40



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・国の事業である、首都圏中央連絡自動車道の一部を形成する横浜湘南道路では、事業着手に向け、地元住民の理解を得るため継続的な懇談会を開催したが、最終的な理解を得るに至らなかった。 ・県の事業である、国道134号線鎌倉高校駅前交差点改良事業では、自然環境の保全を求める声や、県・市への計画の撤回や見直しを求める陳情が寄せられるなど、理解を得るに至らなかった。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・市民の理解を促進するための説明会の開催や、資料提供等事業の進捗を図るため、国・県と協調した対応に努めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・様々なアプローチを試みているが、地元等の理解を得るに至っていない。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・今後も、事業主体である国・県と連携し、理解を得るため、継続して対応していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	・本市の交通環境改善のため、国道道の整備は重要であることから、事業主体である国・県と連携し、継続して取り組む。				
担当課長氏名:		国県道対策担当担当課長 高橋 一也			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	・事業主体である国・県の事業対応を踏まえ、連携して取り組む。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		